

平成31年度 芸術科「音楽Ⅰ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 ABCDE組
教科書	音楽Ⅰ 改訂版 Tutti (教育出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

1 音楽に対する興味・関心を深め、主体的な学習態度を育てる 2 音楽的な感性と基礎的な技能を身につけ、表現する能力を養う 3 幅広いジャンルの音楽に接することにより多様な音楽文化を理解し、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	歌唱	「校歌」	・我が校の校歌を斉唱し、暗譜・暗記することにより、楽譜や歌詞カードが無くても歌えるようにする。また、発声の基本を学び、曲種に応じた表現を工夫して歌うことを学習する。	・練習への取り組み ・実技テスト
5	楽典	コードの基礎	・ウクレレを演奏するにあたり、基礎的なコードの仕組みを覚え、理解する。	・ワークシート
6	器楽演奏(ウクレレ)	ストローク コード弾き	・ウクレレの基礎的な演奏技術である、ストロークを身につける。また、複数のコードを弾けるように練習をする。	・練習への取り組み ・実技テスト
7	鑑賞(ミュージカル)	「ウエスト・サイドストーリー」	・ミュージカル「ウエスト・サイドストーリー」を鑑賞し、その音楽と文化的背景を理解する。また、ミュージカルという演劇形式を理解する。	・ワークシート
9	歌唱	「O sole mio」	・「O sole mio」を独唱し、発声の基本を学び、曲種に応じた表現を工夫して歌うことを学習する。また、イタリア語の歌曲に親しみ、言語や発音の違いを学ぶ。	・練習への取り組み ・ワークシート ・実技テスト
10	鑑賞	お気に入りの曲をプレゼンしよう。	・ジャンルを問わず任意の1曲から選択し、楽曲の良さなどについて発表する。また、発表された楽曲の鑑賞をする。	・ワークシート ・発表
11	歌唱・器楽演奏(ウクレレ)	「大きな古時計」	・「大きな古時計」の弾き歌いを行う。ウクレレはコード弾きにて伴奏する。また、複数人で協力して練習をする。	・練習への取り組み ・実技テスト
12	器楽演奏(ハンドベル)	季節の曲	・複数人でグループをつくり、協力してアンサンブルを行う。楽曲については、季節の曲を中心に、任意の1曲を選ぶ。	・練習への取り組み ・発表
1	器楽演奏(箏)	「さくらさくら」	・日本の伝統楽器について理解を深める。 1面の箏を複数人で演奏し、アンサンブルを行う。	・ワークシート ・発表
2	創作	ライミングの技法を用いた作曲	・ライミングの技法を用いて、創作活動を行う。	・ワークシート ・発表
3	歌唱	卒業式の曲	・卒業式で歌う楽曲を中心に歌唱練習を行う。	・練習への取り組み

3 評価の観点

関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚しその働きを感受しながら、表現意図をもって表現している
技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、創造的に表している
知識・理解	楽曲を解釈したり価値を見出し音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている

4 評価の方法

各学期の評価は、授業中の態度や練習への取り組みと、ワークシートなどの提出物、授業内での発表や実技テストを、評価の観点に従い総合的に行う。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

音楽は、得意不得意が特に分かれる教科ですが、元々の能力に関わらず、やる気や努力を重視して評価します。また、主体的に取り組むことにより、不得意でも基礎的な技能や知識が身に付き、実技テストでも遜色無く演奏できるようになります。音楽は、音と時間の芸術ですので、私語等により本来聴くべき音の妨げをしたり、時間を守れなかったりすることに対しては厳しく指導し、減点の対象とします。
--

平成31年度 芸術科「音楽Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 ABDE組
教科書	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti (教育出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

1 音楽について興味・関心・理解を深め、主体的な学習態度を育てる 2 音楽的な感性を高め、基礎的な力を生かして個性を表現する能力を養う 3 日常生活において主体的に音楽と関わる能力を伸ばし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	歌唱	「Heidenröslein」	・「Heidenröslein」を独唱し、発声の基本を学び、曲種に応じた表現を工夫して歌うことを学習する。また、ドイツ語の歌曲に親しみ、言語や発音の違いを学ぶ。	・練習への取り組み ・ワークシート ・実技テスト
5	楽典	コードについて TAB譜の読み方	・ギターを演奏するにあたって、コードの仕組みを覚え、理解する。また、TAB譜の読み方を理解する。	・ワークシート
6	器楽演奏(ギター)	コード弾き TAB譜弾き	・ギターの基礎的な演奏技術を身につけると同時に、複数の奏法について理解し演奏できるようにする。	・練習への取り組み ・実技テスト
7	鑑賞(オペラ)	「蝶々夫人」	・オペラ「蝶々夫人」を鑑賞し、その音楽と文化的背景を理解する。また、オペラという演劇形式を理解する。	・ワークシート
9	歌唱・器楽演奏 (三線)	「島人ぬ宝」	・「島人ぬ宝」の弾き歌いを行う。また、複数人で協力して練習をする。	・練習への取り組み ・ワークシート ・実技テスト
10	鑑賞	エイサー	・エイサーを鑑賞し、用いられる音楽とその文化的背景を理解する。また、エイサーという伝統芸能を理解する。	・ワークシート
11	鑑賞	お気に入りの曲を プレゼンしよう。	・ジャンルを問わず任意の1曲から選択し、楽曲の良さなどについて発表する。また、発表された楽曲の鑑賞をする。	・ワークシート ・発表
12	器楽演奏 (ハンドベル)	季節の曲	・複数人でグループをつくり、協力してアンサンブルを行う。楽曲については、季節の曲を中心に、任意の1曲を選ぶ。	・練習への取り組み ・発表
1	器楽演奏(ギター)	任意の1曲	・難易度に合わせて任意の1曲を選択し、練習を行う。また、グループでアンサンブルを行う。	・練習への取り組み ・発表
2	創作	ライミングの技法 を用いた作曲	・ライミングの技法を用いて、創作活動を行う。	・ワークシート ・発表
3	歌唱	卒業式の曲	・卒業式で歌う楽曲を中心に、曲種に応じた表現を工夫して練習を行う。	・練習への取り組み

3 評価の観点

関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚しその働きを感じながら、表現意図をもって表現している
技 能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している
知 識 ・ 理 解	楽曲を解釈したり価値を見出し音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている

4 評価の方法

各学期の評価は、授業中の態度や練習への取り組みと、ワークシートなどの提出物、授業内での発表や実技テストを、評価の観点に従い総合的に行う。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

音楽は、得意不得意が特に分かれる教科ですが、元々の能力に関わらず、やる気や努力を重視して評価します。また、主体的に取り組むことにより、不得意でも基礎的な技能や知識が身に付き、実技テストでも遜色無く演奏できるようになります。音楽は、音と時間の芸術ですので、私語等により本来聴くべき音の妨げをしたり、時間を守れなかったりすることに対しては厳しく指導し、減点の対象とします。
--

平成31年度 芸術科「音楽Ⅲ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～E組
教科書	音楽Ⅲ 改訂版 (教育出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

1 音楽文化への興味・関心・理解を深め、主体的な学習態度を育てる 2 音楽的な感性を磨き、専門的な技能を身につけ、個性豊かな音楽の能力を高める 3 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重し、関わってゆく力を深める

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	合唱	「虹」	・合唱曲「虹」を合唱し、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌うことを学習する。 パート練習、全体練習を通して個性を生かした音楽表現を工夫し必要な歌唱の技能を身に付け創造的に表す。	・練習への取り組み ・ワークシート ・発表
5	創作	ライミングの技法を使った作曲	・ライミングの技法を用いて、創作活動を行う。	・ワークシート ・発表
6				
7	器楽	アンサンブル	・音楽Ⅰ・Ⅱで既習した楽器などを用いて、グループを組みアンサンブルを行う。	・練習への取り組み ・ワークシート
	鑑賞(歌舞伎)	「勧進帳」	・歌舞伎「勧進帳」を鑑賞し、その音楽と文化的背景を理解する。また、歌舞伎という演劇形式を理解するとともに、日本の伝統芸能についても理解を深める。	・ワークシート
9	鑑賞	お気に入りの曲をプレゼンしよう。	・ジャンルを問わず任意の1曲から選択し、楽曲の良さなどについて発表する。また、発表された楽曲の鑑賞をする。	・ワークシート ・発表
10	器楽・合唱	「Sing」	・「Sing」(Goose house)を合唱し、また器楽伴奏も交えながら、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌うことを学習する。パート練習、全体練習を通して個性を生かした音楽表現を工夫し必要な歌唱の技能を身に付け創造的に表す。	・練習への取り組み ・ワークシート ・発表
11				
12	歌唱・器楽	卒業演奏発表へむけて	・学年末に行う卒業演奏発表へむけて、任意の楽曲を選択し、グループを組み練習を行う。	・練習への取り組み
1	歌唱・器楽	卒業演奏発表へむけて	・引き続き、学年末に行う卒業演奏発表へむけて練習を行う。	・練習への取り組み
	歌唱・器楽・鑑賞	卒業演奏発表	・3年間の総まとめとして、卒業演奏発表を行う。また、他のグループの発表を鑑賞する。	・ワークシート ・発表

3 評価の観点

関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚しその働きを感受しながら、表現意図をもって表現している
技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している
知識・理解	楽曲を解釈したり価値を見出し音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている

4 評価の方法

各学期の評価は、授業中の態度や練習への取り組みと、ワークシートなどの提出物、授業内での発表や実技テストを、評価の観点に従い総合的に行う。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

音楽は、得意不得意が特に分かれる教科ですが、元々の能力に関わらず、やる気や努力を重視して評価します。また、主体的に取り組むことにより、得意でも基礎的な技能や知識が身に付き、実技テストでも遜色無く演奏できるようになります。音楽は、音と時間の芸術ですので、私語等により本来聴くべき音の妨げをしたり、時間を守れなかったりすることに対しては厳しく指導し、減点の対象とします。

平成31年度 芸術 「書道Ⅰ」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～E組
教科書	書道Ⅰ (教育出版)	副教材等	基本ペン習字 (教育図書)

1 学習の到達目標

- ・小中学校 国語科書写の学習を基礎としながら、書道の幅広い活動を通して生涯にわたり書を愛する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばす。
- ・書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	<書への導入>	1. 書道とは 2. 用具・用材を知ろう 3. 用筆法・運筆法を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の違いを理解し、書道の特徴を知る。 ・用具・用材の種類や製法を学び、その特徴を知る。 ・書く姿勢や筆遣いの基本を理解し、毛筆の特性を知る。 	ワークシート 作品2枚
5	<楷書の学習>	1. 古典に学ぼう 2. 古典の臨書 九成宮醴泉銘 顔氏家廟碑 雁塔聖教序 牛けつ造像記 鄭義下碑	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の意義や拓本について学ぶ。 ・楷書の古典を臨書することにより、基本的な点画の表現法を学ぶ。 ・それぞれの古典の表現の違いや特徴を理解し表現法を学ぶ。 	臨書作品
6	<楷書の創作>	1. 毛筆の書線 2. 文字の表現	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆により様々な線が書けることを体験し理解する。 ・決められた語句で表現方法を工夫し作品を制作する。 (文化祭で作品を展示します) 	創作作品
7	<行書の学習>	1. 行書とは 2. 古典の臨書	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の成立と楷書との違いを理解し表現の特徴を学ぶ。 ・それぞれの古典の特徴を理解し、行書の表現法を学ぶ。 	ワークシート 臨書作品
9	<篆刻・名前の印>	1. 篆刻とは 2. 篆書を調べる 3. 原稿を作る 4. 石に原稿を書く 5. 石を印刀で彫る 6. 押印・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・印や篆刻の意義を理解する。 ・自分の名前の篆書体を字書の中からさがす。 ・正方形の中にバランスよく配置する。 ・手順に注意して石面に丁寧に原稿を書く。 ・印刀の使い方に注意して文字を残して彫っていく。 ・一通り彫れたら、押してみても修正しながら仕上げる。 	ワークシート 印材提出 印影提出
10	<漢字かな混じりの書>	1. 創作の意義 2. 短い語句を書く 3. 作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の意義を創作の観点から理解する。 ・短い語句を様々な書き方の工夫をして書いてみる。 ・短い語句で小条幅作品を書く。 	作品提出 5～6種類
11	<書き初め作品>	1. 書体の選定および練習 2. 清書	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品の中から好きな書体を選び、半紙で練習をする。(プリント使用) ・書体の特徴をふまえ、全体のバランスを考えて清書する。 	ワークシート 作品提出
12			※冬休みの課題があります	

1	<仮名の学習>	1. 仮名の基本	・仮名の成立と変遷について学ぶ。	ワークシート 作品提出 ワークシート 作品提出
		2. 平仮名を書く 3. 単体の練習 4. 変体仮名 5. 連綿の練習	・仮名の書に独特な筆遣いや、基本用筆を学び、習得する。 ・いろは歌を書いて、仮名の基本的な形を理解する。 ・変体仮名の歴史を理解し、代表的なものを書いてみる。(プリント使用) ・仮名の書独特の表現法である連綿をいくつかの種類に分けて書いてみる。	
2		6. 和歌を書く 7. 散らし書き 8. 俳句作品の制作	・和歌一首を連綿に留意しながら丁寧に書いてみる。 ・仮名作品独特の形式である散らし書きを鑑賞し、臨書する。 ・決められた俳句の中から選んで半紙に散らし書き作品を書く。	作品提出 5～6枚
		3	<硬筆の学習>	

3 評価の観点

書への 関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしているか。
書表現の 構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫しているか。
創造的な 書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な技能を身につけて表現しているか。
鑑賞の能力	日常生活の中での書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっているか。

4 評価の方法

書道への関心・意欲・態度、書表現の構想と工夫、創造的な書表現の技能、鑑賞の能力の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・ 用具をきちんと用意し、ていねいに扱うことが基本です。
- ・ 落ち着いた態度で授業に取り組み、最後までねばり強く書いて提出することが大切です。
- ・ 毛筆による表現の工夫をすることによって作品に変化が表われることを体験してください。
- ・ 提出された作品はファイルに綴じて保管します。

平成31年度 芸術 「書道II」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～E組
教科書	書道II (教育出版)	副教材等	ペン字テキスト (書道教育社)

1 学習の到達目標

- ・書道の幅広い活動を通して生涯にわたり、書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための総合的な能力を伸ばす。
- ・書の美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	<楷書の学習>	1. 古典の臨書 高貞碑ほか	・古い時代の楷書を臨書する。 ・(競書大会参加作品制作)	臨書作品
5	<篆書の学習>	1. 篆書とは 2. 古典の臨書 石鼓文 泰山刻石	・甲骨文字から変化、発展した篆書体の歴史を理解する。 ・篆書独特の用筆法を理解して、臨書する。	臨書作品
6	<隸書の学習>	1. 隸書とは 2. 古典の臨書 乙瑛碑 石門頌 木簡ほか	・篆書が変化して隸書が成立した歴史を理解する。 ・隸書独特の字形と用筆法を理解して臨書する。 ・大きい用紙に臨書作品を書く。 (臨書条幅作品制作) (文化祭で作品を展示します)	ワークシート 臨書作品 臨書条幅作品
7	<草書の学習>	1. 草書とは 2. 古典の臨書 十七帖 書譜ほか	・草書が隸書から発生したものであることを理解する。 ・点画を省略していることを理解して臨書する。	ワークシート 臨書作品
9	<篆刻・名前の小雅印>	1. 小雅印の制作	・文字を選び、原稿を作る。 ・印材に文字を書き写す。 ・印刀の使い方に留意して丁寧に彫る。 ・(競書大会参加作品制作)	ワークシート 印材提出 印影提出
10	<行書の学習>	1. 日本人が書いた行書作品 2. 古典の臨書 風信帖 白楽天詩巻	・日本人が書いた行書作品のいくつかを鑑賞し臨書してみる。 ・それぞれの古典の特徴をふまえて臨書する。 (小画仙紙に作品を書く)	ワークシート 小条幅臨書作品
11	<行草書の学習>	1. 四字熟語を書く 2. 作品制作	・四字熟語を題材にした色紙作品を制作する。 (文字の参考資料を配付) ・全体のバランスに注意して書く。	ワークシート 色紙作品

12	<書き初め作品の制作>	1. 書体の選定および練習 2. 清書	・自分の得意な書体を使って練習し、特徴を表現する。 (文字の参考資料を配付) ・用紙にバランスよく配置し特徴を意識して作品をまとめる。 (冬休みの課題あり)	ワークシート 練習作品 清書作品
1 2	<漢字仮名交じりの書>	1. 様々な線質 2. 墨色、潤濁の変化 3. 用具の選定 4. 俳句作品を書く	・筆を使って様々な線を書いてみる。 ・淡墨や潤濁による表現をしてみる。 ・筆記用具を工夫して表現をしてみる。 ・俳句を選定し、文字の配置を工夫して作品を制作する。	創作作品 5～6種類 俳句創作作品
3	<硬筆の学習>	1. 楷書の基本	・楷書の書き方の基本を理解し、丁寧に書く。	ペン字テキスト 記入して提出

3 評価の観点

書への 関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしているか。
書表現の 構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫しているか。
創造的な 書表現の技能	創造的な書表現をするために、応用的な能力を生かし、効果的な技能を身につけて表現しているか。
鑑賞の能力	日常生活の中での書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっているか。

4 評価の方法

<p>書道への関心・意欲・態度、書表現の構想と工夫、創造的な書表現の技能、鑑賞の能力の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の用具を丁寧に使用し、主体的に表現することを楽しみましょう。 ・落ち着いた態度で授業に取り組み、最後までねばり強く書いて提出することが大切です。 ・毛筆による表現の工夫をすることによって、いろいろな作品ができることを体験してください。 ・提出された作品はファイルに綴じて保管します。

平成31年度 芸術 「書道Ⅲ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～E組 (選択)
教科書	書Ⅲ (教育図書)	副教材等	

1 学習の到達目標

- ・芸術書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の発展的な能力を伸ばす。
- ・書の美しさを感じ取る鑑賞の専門的な能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	＜漢字の臨書＞	1. 漢字の変遷	・漢字の書体の変遷を理解する。	ワークシート 練習状況 臨書作品
		2. 課題の選択	・興味ある古典を選択し、文字を選別する。	
5	＜漢字の臨書＞	3. 臨書の練習	・半紙に練習する。	ワークシート 練習状況 臨書作品
		4. 半切作品の制作	・画仙紙に古典の特徴を捉えて、作品を清書する。	
6	＜漢字の倣書＞	1. 古典の倣書	・漢詩等の題材を選び、古典をイメージして書いてみる。	ワークシート 倣書作品
		2. 原稿作成	・原稿を作成し半紙に練習する。	
7	＜漢字仮名交じりの書＞	3. 倣書作品	・画仙紙に古典をイメージして、倣書作品を清書する。	いろは歌作品 ワークシート 詩文書作品
		1. 毛筆の特徴	・いろいろな筆を使用して短い語句を書いてみる。	
9	＜少字数大字作品＞	2. いろは歌	・特徴のある筆を使用して画仙紙にいろは歌を書く。	ワークシート 詩文書作品
		3. 詩を書く	・詩や歌詞を選び、原稿を作成し、画仙紙に清書する。	
10	＜少字数大字作品＞	1. 題材を選ぶ	・(上記の作品の中から一点を軸装作品とし、文化祭に展示する。)	練習状況 大字作品
		2. 特大筆の使用	・1～2字の語を字書から探し半紙に書いてみる。	
11	＜刻字作品制作＞	3. 作品制作	・特大筆の使い方を新聞紙で練習する。	練習状況 大字作品
		1. 題材の選択	・床に広げた全紙の用紙に特大筆を使って書いてみる。	
12	＜刻字作品制作＞	2. 特大筆の使用	・(競書大会参加作品制作)	ワークシート 作業状況
		3. 作品制作	・古典全集から好きな古典を選ぶ。	
11	＜拓本作品制作＞	1. 題材の選択	・集字して6文字分をトレーシングペーパーに写し取る。	ワークシート 拓本作品 刻字作品
		2. 原稿の作成	・板に原稿を乗せ、カーボン紙を使って字を写す。	
12	＜拓本作品制作＞	3. 板への転写	・彫刻刀を使って文字を彫る。	ワークシート 拓本作品 刻字作品
		4. 文字を彫る		
12	＜書き初め作品＞	1. 拓本とは	・彫られた文字を写し取るものであることを理解する。	ワークシート 拓本作品 刻字作品
		2. 湿拓法とは	・湿拓法の手順を理解し、用具を使って作業を進める。	
12	＜書き初め作品＞	3. 板に着色	・板にアクリル絵の具を塗る。	ワークシート 拓本作品 刻字作品
		1. 書体を決定	・参考作品の中から書体を選ぶ。	
12	＜書き初め作品＞	2. 半紙で練習	・書体の特徴を踏まえて各文字を練習。	練習状況 清書作品
		3. 清書	・バランスに注意して清書し、氏名を書いて仕上げる。	

			(冬休みの課題あり)	
1	<行草書の学習>	1. 七字句を 選ぶ 2. 創作練習 3. 色紙作品	・参考資料の中から行書または草書の 題材を選ぶ。 ・半紙に3行書きで、書体の特徴を 踏まえて練習する。 ・文字の大きさ全体のバランスを考え 丁寧に清書する。	ワークシート 練習状況 色紙作品

3 評価の観点

書道への 関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしているか。
書表現の 構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し作品において、表現を工夫しているか。
創造的な 書表現の技能	創造的な書表現をするために、芸術的な能力を生かし、効果的な技能を身につけて表現しているか。
鑑賞の能力	日常生活の中での書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっているか。

4 評価の方法

<p>書道への関心・意欲・態度、書表現の構想と工夫、創造的な書表現の技能、鑑賞の能力の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・用具を大切に扱い、自分の思うとおりの表現に生かせるといいです。 ・落ち着いた態度で授業に取り組み、最後までねばり強く書いていくことが大切です。 ・書道芸術の専門的な分野に興味を持ち、主体的に表現して作品制作ができるといいと思います。

平成31年度 芸術 「美術I」 シラバス

単位数	2単位	学 科	普通科
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	学年・学級	1年 A～E組

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学 期	題材名	学習項目	学習活動	評価の材料等
1 学期	構成デッサン	絵画鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの基本技法について学ぶ。 ・幾何形体をデッサンし、素描について理解する。 ・モチーフを構成し、想像の風景を描く。 ・作品制作を通し、描写力を高める。 ・自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	ワークシート アイデアスケッチ 作品制作の過程 完成作品 レポート
2 学期	立体造形	塑像鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品から、立体表現について学ぶ。 ・モチーフをデッサンしながら形や質感をつかむ。 ・作品制作を通し、立体感覚を磨く。 ・自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	
3 学期	多色木版	デザイン鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵から多色木版について学ぶ。 ・モチーフを決定し、図案を考える。 ・図案をもとに、版の分け方を考える。 ・図案を版木に転写する。 ・彫り ・刷り ・自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術文化に関心をもち、創造的に美術の学習に取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。
創造的な技能	創造的な表現活動のための技能を身につけ、創意工夫して表現しているか。
鑑賞の能力	美術作品や美術文化などについて理解を深め、創造的に味わっているか。

4 評価の方法

- 1) 考查試験はありません。提出物（作品・レポート）は、確実に提出してください。指示や期限が守られていないものは評価できません。
- 2) 「評価の観点」から、それらを総合的に判断して評価します。

5 担当者からのメッセージ

- 1) 真面目な態度で授業に参加してください。指示をよく聞き、マナーを守り、安全な作業を心掛けてください。
- 2) 遅刻をしないこと。服装等は校則を遵守すること。
- 3) 課題は授業時間内での完成を目指してください。作業が遅れている者については補講も実施しますが、怠惰が理由の場合は補講の参加は認めません。
- 4) 授業に必要な資料や用具は学校で用意しますが、自分で使用したいものがあれば相談してください。また、材料の一部を用意してもらうこともあります。

平成31年度 芸術 「美術Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学 科	普通科
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	学年・学級	2年 A・C～E組

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学 期	題材名	学習項目	学習活動	評価の材料等
1学期	平面構成	絵画 デザイン 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 線や形による表現方法について学ぶ。 感覚や感情などを表現し、線や形から得られるイメージを深める。 テーマを決定し、画面構成する。 作品制作を通し、イメージ力を高める。 自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	ワークシート アイデアスケッチ 作品制作の過程 完成作品 レポート
2学期	金属工芸	工芸 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 金属板の打ち出しについて学ぶ。 素材の特性について理解し、材質に合ったデザインを考える。 素材や道具を生かしながら作品制作 自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	
3学期	動きのデザイン	デザイン 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品からフェナキストスコープについて学ぶ。 動きのデザインを考える。 モチーフを決定し、コマ数に応じて動きを分割する。 線や形、色の効果を考えながら作品制作。 自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術文化に関心をもち、創造的に美術の学習に取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。
創造的な技能	創造的な表現活動のための技能を身につけ、創意工夫して表現しているか。
鑑賞の能力	美術作品や美術文化などについて理解を深め、創造的に味わっているか。

4 評価の方法

- 1) 考查試験はありません。提出物（作品・レポート）は、確実に提出してください。指示や期限が守られていないものは評価できません。
- 2) 「評価の観点」から、それらを総合的に判断して評価します。

5 担当者からのメッセージ

- 1) 真面目な態度で授業に参加してください。指示をよく聞き、マナーを守り、安全な作業を心掛けてください。
- 2) 遅刻をしないこと。服装等は校則を遵守すること。
- 3) 課題は授業時間内での完成を目指してください。作業が遅れている者については補講も実施しますが、怠惰が理由の場合は補講の参加は認めません。
- 4) 授業に必要な資料や用具は学校で用意しますが、自分で使用したいものがあれば相談してください。また、材料の一部を用意してもらうこともあります。

平成31年度 芸術 「美術Ⅲ」 シラバス

単位数	2単位	学 科	普通科
教科書	美術3（光村図書）	学年・学級	3年 A～E組

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

2 学習の計画

学 期	題材名	学習項目	学習活動	評価の材料等
1 学期	型染め	デザイン鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・型染めについて学ぶ。 ・様々な模様について学ぶ。 ・図案を考える。 ・図案をもとに、版の分け方を考える。 ・版制作 ・染め ・自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	ワークシート アイデアスケッチ 作品制作の過程 完成作品 レポート
2 学期	自画像	絵画鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自画像について学ぶ。 ・色面分割について学ぶ。 ・自分を表現する色彩やモチーフ、素材を考える。 ・画面構成 ・作品制作 ・自分と友人の作品について、レポートを作成する。 	
3 学期	遠近法	絵画鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遠近法について学ぶ。 ・遠近法を用い平面上に空間を描く。 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術文化に関心をもち、創造的に美術の学習に取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせ、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。
創造的な技能	創造的な表現活動のための技能を身につけ、創意工夫して表現しているか。
鑑賞の能力	美術作品や美術文化などについて理解を深め、創造的に味わっているか。

4 評価の方法

- 1) 考查試験はありません。提出物（作品・レポート）は、確実に提出してください。指示や期限が守られていないものは評価できません。
- 2) 「評価の観点」から、それらを総合的に判断して評価します。

5 担当者からのメッセージ

- 1) 真面目な態度で授業に参加してください。指示をよく聞き、マナーを守り、安全な作業を心掛けてください。
- 2) 遅刻をしないこと。服装等は校則を遵守すること。
- 3) 課題は授業時間内での完成を目指してください。作業が遅れている者については補講も実施しますが、怠惰が理由の場合は補講の参加は認めません。
- 4) 授業に必要な資料や用具は学校で用意しますが、自分で使用したいものがあれば相談してください。また、材料の一部を用意してもらうこともあります。